

# 業務用キャベツの品種選定

## ～ 4月、5月どり品種の探索 ～

### 1. はじめに

近年、業務用野菜の需要が高まっており、県内でも生産振興にむけた技術開発が求められている。特にキャベツでは4月、5月どりの栽培体系が組まれておらず、業務用出荷に対応した品種の選定が必要である。そこで、4月、5月どりに適した品種の選定を行った。

### 2. 材料および方法

4月どり品種については4品種（表1参照）を2017年8月21日、8月28日、9月4日に与作N-8を充填した128穴セルトレイに播種し、それぞれ9月22日、9月25日、10月3日に定植した。

5月どり品種については6品種（表2参照）を2017年10月3日、10月10日、10月17日に与作N-8を充填した128穴セルトレイに播種し、それぞれ11月7日、11月15日、11月21日に定植した。それぞれの品種について収穫日、結球重、抽苔歩合等を調査した。

### 3. 結果

#### 1) 4月どり品種

結球重は‘夢ごろも’で最も大きく、次いで‘冬ぐり’の順であった。また、播種日が遅くなるほど結球重は小さくなった。抽苔歩合は‘冬ぐり’で最も小さくなった（表1）。なお、本データは冬季の低温、低日照により側枝が多発したため、十分な結球が確認できる前に側枝の抽苔にあわせて調査を行った結果である。

#### 2) 5月どり品種

結球重は、5月10日～20日までに収穫できた品種では全ての播種日で‘YR五月っ子’で最も大きかった。また、5月21日～31日に収穫できた品種では「10月3日播種」の‘YR天空’で最も大きく、次いで「10月10日播種」の‘さつき女王’の順であった。ただし、‘YR天空’は播種が遅くなると6月中旬の収穫となった。また、全ての品種で抽苔はほとんど確認されなかった（表2）。

表1 4月どり品種の播種日別調査結果

品種	播種日 (月/日)	結球重 (g)	抽苔歩合	結球緊度
青龍345	8/21	955	2.7	0.55
	8/28	803	3.0	0.57
	9/4	313	2.5	0.48
冬のぼり	8/21	1024	2.6	0.54
	8/28	945	3.0	0.55
	9/4	381	2.5	0.52
夢ごろも	8/21	1178	2.7	0.59
	8/28	1145	3.0	0.59
	9/4	369	2.9	0.45
冬ぐり	8/21	1097	2.1	0.65
	8/28	1021	2.4	0.57
	9/4	558	2.0	0.57

※抽苔歩合=0:頂花が確認できない 1:頂花確認  
2:脇芽確認 3:頂花、脇芽の伸長および肥大  
結球緊度=(結球重)/(1/6π×(球径)<sup>2</sup>×(球高))  
結球緊度とは結球の締りを表した数値で、概ね0.5以上が業務用品種に適しているとされる。

表2 5月どり品種の播種日別調査結果

品 種	播種日 (月/日)	収穫日 (月/日)	結球重 (g)	抽苔歩合	結球緊度
さつき王	10/3	5/7	1346	0.0	0.61
	10/10	5/8	1362	0.0	0.54
	10/17	5/8	1319	0.0	0.55
YR春空	10/3	5/8	1363	0.0	0.60
	10/10	5/8	1208	0.0	0.59
	10/17	5/10	1021	0.0	0.57
かおるだま	10/3	5/10	947	0.0	0.51
	10/10	5/10	951	0.0	0.47
	10/17	5/16	1231	0.0	0.52
YR五月っ子	10/3	5/12	1797	0.0	0.59
	10/10	5/14	1770	0.0	0.57
	10/17	5/19	1797	0.0	0.63
さつき女王	10/3	5/21	1906	0.0	0.66
	10/10	5/24	2010	0.0	0.63
	10/17	5/28	1847	0.1	0.67
YR天空	10/3	5/31	2094	0.0	0.73
	10/10	6/12	1680	0.2	0.76
	10/17	6/13	1503	0.2	0.76

### 4. おわりに

4月どり品種については、年内の低温・低日照等により4月収穫ができなかったが、供試品種の中で抽苔歩合が低く、結球重が大きい‘冬ぐり’が有望であると考えられる。

また、5月どり品種について5月中下旬の収穫が可能で、結球重が大きく、結球緊度も高い‘YR五月っ子’、‘さつき女王’が有望であると考えられる。今後、これらの品種について株間を変えた栽培試験を行い、最適な栽植密度について検討する。

(栽培部 橋本真明)